



令和8年1月

地域支援センターだより

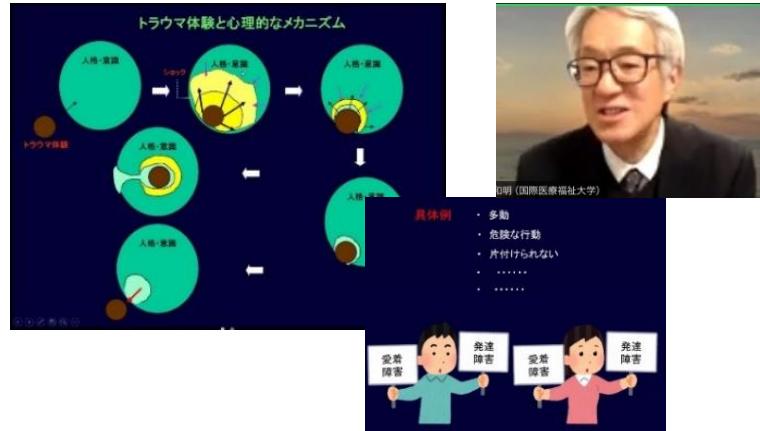
地域支援センター やわた

第2回「スキルアップ研修会」を開催しました

12月23日 14:00からスキルアップ研修会をオンライン開催し、124名が参加しました。

今回は、国際医療福祉大学 大学院教授の橋本和明先生をお招きし、「愛着と発達に課題のある子どもへの支援」について御講演いただきました。橋本先生は、数年前まで花園大学教授として、府立学校等の相談に関わってこられました。今回は特に「愛着」「発達障害」などについての最新の考え方や見立てを教えていただきました。

講義の前半では、子どもの話を聞くときに私達がしてしまいがちな対応とその問題点を確認した上で、愛着に関わる疾患や「トラウマ」について、わかりやすく説明していただきました。後半は発達障害とトラウマの関係、身近な事例を挙げて「愛着と発達」の視点を用いて検討し、支援に生かせる「ほめる視点」などについて詳しく教えていただきました。研修後は、地域の先生方から、沢山の御感想をいただきました。



御参加いただいた方からの感想（一部抜粋）

- 今回学んだ事を今後の保育に生かし、一人一人の子どもをよく観察してその子にあった関わりや支援ができるよう心掛けたい。職員間での共通認識を深めて子どもにとっての安心できる環境作りを大切にしたい。【幼稚園・保育園・こども園】
- 自分が担当している児童に置き換えながら考えることができた。親の養育態度が、子どもの発達に影響することも課題の一つであると思った。【小学校】
- 発達に課題のある子ども、愛着形成に課題のある子ども、表面化する症状は似ていても背景にあるものが変わるために、対応や考え方も変わるという事を学びました。【中学校】
- トラウマや愛着障害の話に胸が苦しくなりました。ASDの人の記憶がトラウマ記憶になりやすいエピソードは、大学生の事例でとてもわかりやすかったです。お話を聞きながら、何人もの生徒の顔が浮かびました。子どもの様子をよく観察し、相手の気持ちを慮りながら傷に触れていきたいです。【高等学校】
- 愛着に課題のある生徒を担当しているが、様々な行動を「トラウマがそうさせている」と受け入れるには、相当時間がかかると思う。今回の研修ではそういう事を知ることができたので、具体的な支援策等を学ぶことができる機会もあればうれしいと思う。【八幡支援】
- 発達障害なのか、愛着障害なのか、事例を入れてくださりながらとても分かりやすくお話を聞かせていただきました。また、トラウマについて理解を深めないといけないという内容でした。ほめて育てるとは言いますが、ただほめるのではなく、努力を評価するなどのほめる視点を持ち、職員、子どもと保護者、我が子に接していくたいと思います。【関係機関・その他】

毎回、様々な校種から多くの先生方に参加頂いています。おかげさまで本年度のスキルアップ研修会も好評のうちに終えることができました。地域の先生方のニーズに応じた研修会を企画していきたいと考えていますので、来年度も奮って御参加ください。

